

【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1940 平行転送の場合)

1 . パソコンとM1940の接続

平行ケーブルで接続します。

2 . 転送フォーマットの設定

「MODE」キーを押し「System Config」を選択後、「ENT」を押します。
[Data Format]を選択後「ENT」を押し設定します。上下キーでフォーマットを選択後「ENT」を押し設定します。最後に「START」を押すとこの設定が保存されます。また、この設定は電源を切っても有効です。

3 . Data PR Inの設定

「MODE」キーを押し「I/O Command」を選択後、「ENT」を押します。
[Data PR In]を選択後「ENT」を押し設定します。
【アドレス設定】を参照し、データスタート、バッファスタートアドレスの設定を行います。

【アドレス設定】

表示の、上側8桁はデータのスタートアドレス、下側8桁がデータのエンドアドレスを示します。

データスタートアドレス、バッファスタートアドレスが共に0番地で良い場合は、初期設定の状態です。「START」キーを押します。

また、データスタートアドレス/エンドアドレスを変更したい場合は、アドレス設定後「START」キーを押して設定を完了して下さい。

【アドレス設定完了後】

上記アドレス設定完了後、『parallel Input intel Hex Input』（フォーマットがインテルHEXの場合）と画面に表示されればプログラマ側の設定は完了です。パソコンからのデータ入力待ちとなりますので後は、4 . パソコン側の設定を行って下さい。

【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1940 パラレル転送の場合)

4 . パソコン側の設定

パソコンを立ち上げ、WINDOWS95/98のMS-DOSプロンプトを起動する。
デ - タがCドライブにあり、インテルH E X 「minato.hex」の場合、画面上で、

COPY C : minato.hex PRN

(COPY ドライブ : ファイル名 PRN)

リターンを押せば、プログラマへのデ - タ転送が開始される。

また、デ - タがバイナリ - の場合は、2 . 転送フォ - マット設定で、
『NO FORMAT』を選択 (『BINARY』は不可) 。
転送デ - タがバイナリ - 「minato.bin」の場合、

COPY /B C : minato.bin PRN

(COPY /B ドライブ : ファイル名 PRN)

終了後は、「EXIT」リターンで画面を抜ける。

以上